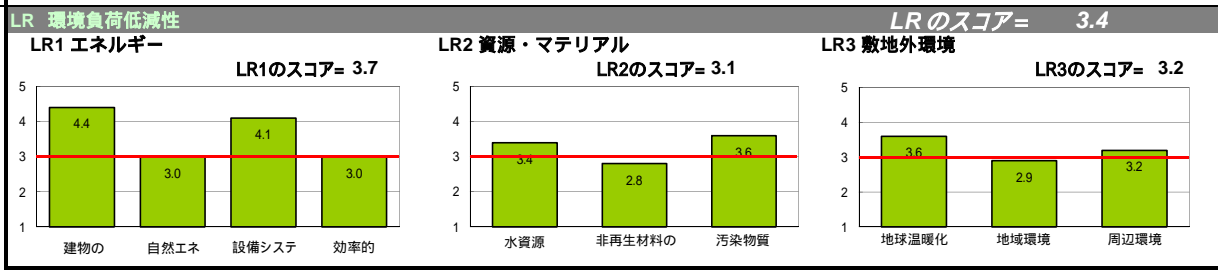
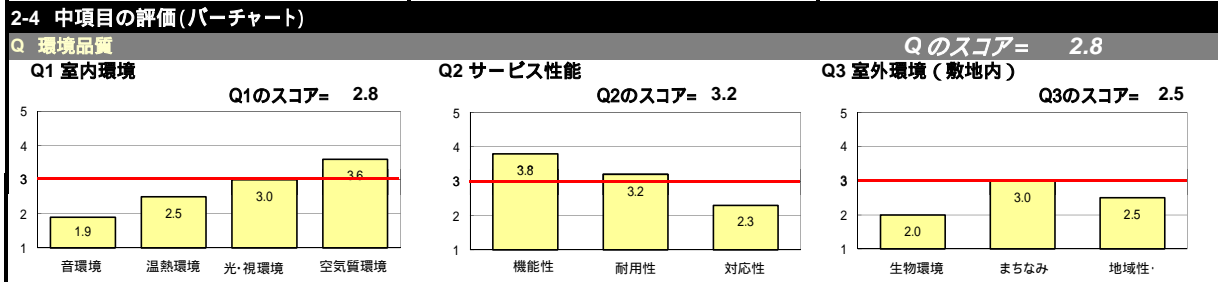
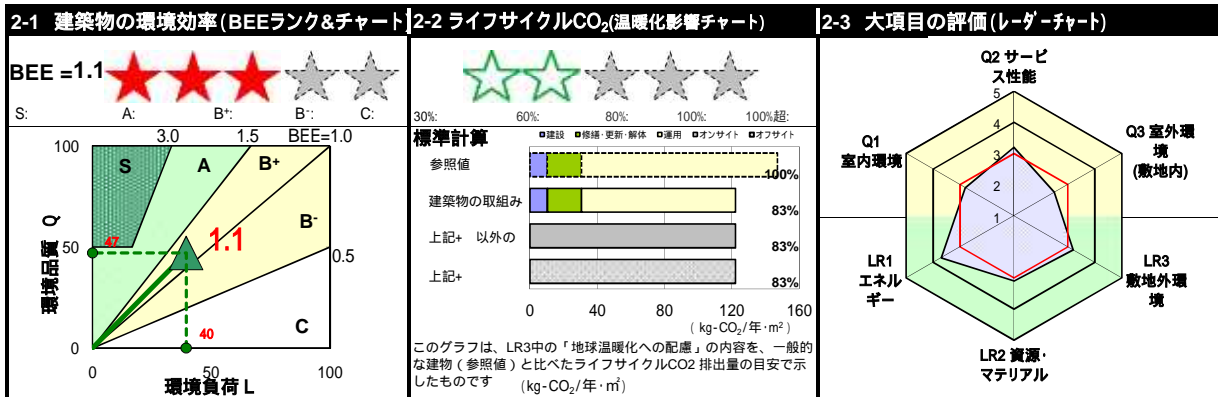
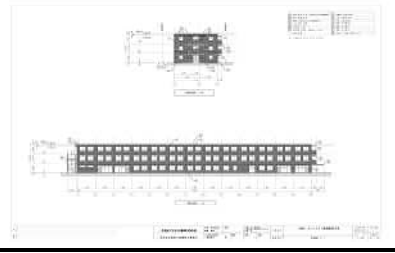


# CASBEE<sup>®</sup> 新築 [簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) サニーライフ座間新築工事	階数	地上3F
建設地	座間市広野台1丁目5130-1、-2	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、準住居地域、準防	平均居住人員	120 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年6月 予定	評価の実施日	2013年1月24日
敷地面積	2,059 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業株式会社
建築面積	947 m <sup>2</sup>	確認日	2013年1月25日
延床面積	2,724 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業株式会社



3 設計上の配慮事項		その他
総合 特になし		特になし
<b>Q1 室内環境</b> 断熱材強化により外部からの熱的侵入を抑制する。 施設内の快適性を確保するため、光視環境(昼光率)、 空気質環境(機械換気、自然換気)の向上に努める。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐用性・信頼性向上のため、外壁及び空調・給排水配管の 長寿命化に配慮する。 また、空間のゆとりの確保による対応性の向上、配線の更 新性の向上に努める。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 食堂テラス付近及び出入口付近にバラ園を設けることにより、 建物内外ともに良好な景観形成に努める。 敷地を見通しのよいメッシュフェンスで囲み、建物周辺に は防犯カメラを設けて防犯性に配慮する。
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱材強化による建物熱負荷の軽減、高効率機器の採用 等により省エネルギーに配慮する。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 水資源保護の観点から、自動水栓に加えて省水型機器(節 水型便器等)を採用する。 非再生資源使用量削減のため、部材の再利用可能性向上に 努める。 有害物質含有材料の使用抑制のため、ノンフロン断熱材を 採用する。	<b>LR3 敷地外環境</b> 高効率機器の積極的な採用によりLCCO <sub>2</sub> 排出量削減に努 める。 光害の抑制に努める。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される